

ニカラグアを憂いている君へ その2

USAID の新たな策動

1)コードネーム “RAIN”

昨年末以来、2018年のクーデターの失敗をとり返そうとして、USAIDプロジェクトが広まっています。

この作戦のコードネームは「RAIN」といいます。

それは今年の選挙を妨害し、不安を引き起こす計画です。その後は外国の介入を呼びかけ、その圧力のもとにある種の「暫定政府」を形成することになります。

実行を担当するネットワークは現在調査中ですが、彼らが USAID、NED、NDI、IRI、および EU から多額の資金を受け取っていることは明らかです。

2)新しい RENACER 法の成立

この2年間、国家転覆を狙う人々は、外国の介入とニカラグアへの強制的措置の適用を求め、米国に繰り返しロビー活動を行ってきました。

こうして新しい RENACER 法が可決されたのです。

それはニカラグアの各種金融へのアクセスを制限し、新型コロナ・ワクチンなど医薬品の購入を妨害するための強制的な措置です。

これらの強制的な措置は、ニカラグア国民の大多数によって拒否されています。世論調査では最大で85%の国民が反対しています。

ニカラグアの法律は、“外国政府に対して自国に対する強制的措置を求める”人々から、すべての政治的権利を剥奪しています。

調査の対象となっているグループは、これを知っていましたが、長期にわたり彼らは制裁のためのキャンペーンを続けました。

3)恩赦も対話も拒否

勾留者の一部は、2018年のクーデターの試みが失敗した後に投獄されました。

しかし、「同じ犯罪を再び犯さない」という只一つの条件の下で恩赦が与えられました。

ニカラグアの恩赦法は明確に述べています。もし再犯した場合、クーデターの試み中に犯された以前のすべての犯罪が、その後の判決に加えられることを。

勾留者たちは、恩赦を受け入れ、対話の申し出を行いました。しかし彼らの主張は、最初から最後まで「政府は辞任せよ」ということだけでした。

彼らが勝つことを確信しているのなら、なぜ彼らは選挙に行きたくないのでしょうか？

それは、選挙になれば彼らが負けることを知っているというだけの理由です。こうして彼らは常に民主的な道を拒否してきたのです。

これらの人々は「野党指導者」ですか？

違います。3年間で、これらのグループは「野党」どころか、子供たちのパーティーさえ組織することができませんでした。

どうして？

彼らはクーデターのたために、国内の4つの産業分野のうち1つを破壊しました。そのために彼らが持っていた支持基盤を失いました。

どんな産業が壊れたのしょう？

それは、中小自営農、市場のトルティーヤ売り、職人、小さなホテルのオーナーといった普通の人々の産業です。

そういった層も含めて、ニカラグアの人々の大多数がクーデターの影響を受けました。

生命に影響が及んだ人々は、ほとんどが実際にはサンディニスタの支持者でした。

警察の取締り：治安活動か弾圧か

ニカラグアの警察が抑圧的であるというのはまったく真実ではありません。ニカラグアが持つのは、中央アメリカ全体で最小の警察力と最小の警察予算です。

ニカラグアの治安は、パナマ、コスタリカ、エルサルバドル、ホンジュラス、グアテマラとは比べ物になりません。

ニカラグアの住民10万人あたりの殺人件数は他の中米よりもはるかに少なく、麻薬カルテルも「マラス」もここで定着していません。

ニカラグアの警察は、暴力の恐怖ではなく、住民との接触と非常に優れた情報活動に基づいて活動しています。

その理由は警察が地元の住民と密着して活動しているからです。他の中米諸国の警察は、ほとんど根無し草のように社会のあちこちを移動しています。

陰謀の行く先は行き止まり

ニカラグアのクーデターの行く先は行き止まりになっています。
ニカラグアの大多数は暴力を拒否しており、クーデター派への世論の支持は非常に低くなっています。
それはチャモロ派の新聞「ラ・プレンサ」が発表した世論調査でも明らかです。

西側報道は「候補者」が迫害されていると主張します。しかし彼は選挙候補者でも「前候補者」でもありません。選挙候補者の政党による登録は、7月末まで開始されないからです。
さらに、調査対象者のほとんどは、法的に登録された有資格者さえありません。

3年間、クーデター企画者集団は、「候補者」を合法的に登録された政党に押し付けようとしてきました。米国大使館とUSAIDが資金提供したメディアがそれを支援してきました。

でも、なぜそれらの政党は、これまで苦労して獲得した票田や選挙活動の構造をあっさり引き渡す必要があるのでしょうか？

選挙参加は全政党の合意

ニカラグアの国と自治体の議員のほとんどは、法律を遵守し、選挙プロセスに参加することを選択しました。
すべての部門と地域で、各党の代表者で構成される「選挙評議会」がすでに構成され、宣誓されています。各自治体でも同じです。

17の政党がこのプロセスに参加しています。
「選挙評議会」は、二大政党であるFSLNとPLCが主導し、最近の選挙結果に従って各レベルで選出され、残りのメンバーが他の政党に分配されます。

評議会の構成は、すべてのレベルで少なくとも半分以上が女性でなければなりません。そのためには妥協して合意に達する意欲が必要です。
これらの政党のほとんどは野党ですが、選挙評議会のメンバーを選ぶ権利はあります。

どうして？

なぜなら、ほとんどのニカラグア人はニカラグアに住んでいて、タックスヘイブンの収入や外国大使館からの支払いをあてにせず、国の経済で生計を立てているからです。

クーデター陰謀集団に最も近いと考えられる「自由市民党」でさえ、選挙プロセスに参加しています。

調査対象のいずれも、特定の当事者に属しているため、調査中です。

アルノルド・アレマンの妻であり、同じく逮捕されたマリア・フェルナンダ・フローレスは、彼女自身の党であるPLCに影響を与えていません。
その議会グループは、汚職の告発のために彼女の議会の免責を取り消すことを数ヶ月前に決定しました。

PLCはこれから、検察が彼女に対してどのような証拠を持っているかを見ていきます。
結局、これらの人々が立候補するには、起訴されるかどうかにかかわらず、評議会が最終決定権を持つことになります。

ことは選挙ではなく法支配の問題だ

これは、ダニエル・オルテガが選挙に負けることを恐れていることとは何の関係もありません。それはニカラグアの法律がニカラグアの国を支配できるかどうかという瀬戸際なのです。

ニカラグア政府が、いま行動を起こさなければ、すべての暴力的勢力は、何をしても恩赦を得ることができると考え、ニカラグア国家が崩壊するまで執拗に暴れ続けるでしょう。

しかし、ニカラグアの大多数はそれを望んでいません。

3年間、これらのグループは経済を破壊しようとしてきました。

クーデター推進派の財界指導部(COSEP など)は、これまで何度もロックアウトを呼びかけています。しかし、草の根の人々の大多数が実体的な経済を支配しているので、彼らは失敗しました。

彼らは3年間、制裁を求めて戦ってきました。しかしそれは、ニカラグアの大多数の人々の侮辱をもたらしたただけでした。

捜査対象者と既存政党との関係

捜査対象者は、特定の政党に属しているから捜査されているわけではありません。

アルノルド・アレマンの妻であり、現在勾留中のマリア・フェルナンダ・フローレスは、彼女が所属する自由保守党(PLC)に影響を与えていません。

PLCの議会グループは、彼女の汚職疑惑の告発を深刻に受け止め、党として議員免責を取り消す方向を決定しました。

検察が彼女に対してどのような証拠を持っているかを見ていくことになります。

結局、勾留者たちは起訴されるかどうかにかかわらず、議会が最終決定権を持つことになります。

それは、「ダニエル・オルテガが選挙に負けることを恐れている」かどうかには何の関係もありません。

それはニカラグアの法律がニカラグアを支配するかどうかについてです。

ニカラグア政府が今行動しない場合、クーデターの仕掛け人たちは、「政府は弱気になっている。我々は人々に対して暴力を振るうことができ、その後は恩赦を得ることができる」と思うでしょう。

そうしてニカラグア国家が崩壊するまで、すべての暴力組織は執拗に攻撃を継続するでしょう。

しかし、ニカラグアの大多数はそれを望んでいません。

サンディニスタ政治への確信

2020年、ニカラグアはラテンアメリカでコロナウイルスの影響が最も少ない国の1つでした。

昨年11月にはハリケーンミッチ以来最悪のハリケーンが2つも発生しました。しかしそれにもかかわらず、GDPの低下はわずか2%に留まりました。

今年、すべてのまっとうなオブザーバーは経済成長を予測しています。政府予想は5%以上、民間では6%以上を予測しています。

ほとんどのニカラグア人が平和と安定を望んでいるなかで、これらの経済目標はすべて達成されました、

だから、ほとんどのニカラグア人は、FSLN がしていることは国にとって良いことだと確信しています。